(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2024 年 6月 20日

神戸市長 宛

提出者

住所 兵庫県神戸市西区玉津町出合200 氏名 大東建託(株)神戸 支店 支店長 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 078-927-6200

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業	場	0)	名	称	大東建託株式会社 神戸支店		
事	業	場	の	所	在	地	兵庫県神戸市西区玉津町出合200番地の2		
計		画		期		間	令和6年4月1日 から 令和7年3月31日		
当該	亥事業	美場に	こおし	ハて	現に	行	っている事業に関する事項		
	①事業の種類						D06 総合工事業		
	②事業の規模					13,347百万円(前年度完工高)			
	③従業員数					118人			
		業業廃	,		一連		汚泥 → 脱水・調質改良 → 改良土として再生利用又は埋立がれき類 → 破砕 → 再生砕石として再生利用 廃プラスチック → 破砕、圧縮梱包 → 原料、燃料として再生利用 → 埋立 金属くず → 切断、破砕 → 原料として再利用 紙くず → 圧縮梱包 → 製紙原料等として再生利用 木くず → 破砕 → チップ・燃料等として再生利用 オくず → 破砕 → チップ・燃料等として再生利用 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず → 破砕 → 再利用または 埋立		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

本社

: 全社的な廃棄物処理に関する検討

廃棄物の発生抑制、軽量化、循環利用(再使用・再生利用)、訂正処理 の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。

全社的な廃棄物処理方針の策定 廃棄物処理に関する各種事項の決定

廃棄物処理計画の作成

支店(責任者):支店における廃棄物処理に関する検討

廃棄物の発生抑制、軽量化、循環利用(再使用・再生利用)、訂正処理 の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。

産業廃棄物の排出の抑制に関する重面

※ 業廃棄物の排出の抑制を 	制に関する事項				
	【前年度(令和 5 年度)実績】				
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	0600 廃プラスチック類		
	排出量	380. 5 t	135. 3 t		
①現状	(これまでに実施した取・電子マニフェストの導・古紙のゼロエミッショ・協力業者へ分別の指導・解体現場に於ける金属・広域認定での再資源化・端材の有効利用による	☑入。 ンの取り組み。 ☑・教育を実施。 ☑くずの産廃処理量を削減 ☑促進。	載する。		
	【目標】				
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	0600 廃プラスチック類		
	排出量	177. 3 t	63 t		
②計画	(今後実施する予定の取 ・古紙のゼロエミッショ ・協力業者へ分別の指導 ・解体現場に於ける金属 ・広域認定での再資源化 ・端材の有効利用による ・工場生産によるパネル	ンの取り組み。 ・教育を実施。 くずの産廃処理量を削減 促進。 処分量削減。	載する。		
業廃棄物の分別に関	する事項				
①現状		•	,		
②計画	(今後分別する予定の産業・木くず、紙くず、廃プ現場にて実施。 ・分別推進看板の現場掲・現場での作業員への直・狭小現場での分別の仕	[°] ラスチック、石膏ボー〕 。 接指導。			

自员	っ行う産業廃棄物の再	手生利用に関する事項		
		【前年度(令和 5年度	E) 実績】	
		産業廃棄物の種類	0200 汚泥	0600 廃プラスチック類
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	①現状	(これまでに実施した取	(組)	
		【目標】		T
		産業廃棄物の種類	0200 汚泥	0600 廃プラスチック類
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	②計画	(今後実施する予定の取	(組)	
白色	こ 行 5 卒 类 咳 棄 物 の 口	□間処理に関する事項		
l l	117度未廃来物ット	【前年度(令和 5 年度		
		産業廃棄物の種類	0200 汚泥	0600 廃プラスチック類
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	①現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
		(これまでに実施した取	双組)	
		【目標】		T
		産業廃棄物の種類	0200 汚泥	0600 廃プラスチック類
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
		(今後実施する予定の取	双組)	

		関する事項			
	【前年度(令和 5年度)				
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥		0600 廃プラスチ	ック類
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量		t		t
①現状	(これまでに実施した取組	.)			
	【目標】				
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥		0600 廃プラスチ	ック類
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量		t		t
②計画	(今後実施する予定の取組	.)			
産業廃棄物の処理の	②委託に関する事項 【前年度(令和 5年度)	実績】			
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥		0600 廃プラスチ	ック類
	全処理委託量	380. 5	t	135. 3	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0	t	29. 5	t
	再生利用業者への処理委託量	380. 5	t	69. 9	t
	人工女和重				
①現状	認定熱回収業者への処理委託量	0	t	0	t
①現状	認定熱回収業者への	0	t	0	t

(第5面)

	(第:	o			
	【目標】				
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	!	0600 廃プラスチ	ーック類
	全処理委託量	177. 3	t	63	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0	t	13.8	t
	再生利用業者への 処理委託量	177. 3	t	32.6	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0	t	0	t
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0	t	0	t
	・木くず、紙くず、廃フ 現場にて実施。 ・分別推進看板の現場搖 ・現場での作業員への直 ・現場作業、現場加工の	l示。 E接指導。	膏ボー	ド、金属くずの分	別を各

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
 - 7 ※欄は記入しないこと。

			面)-2				
産業	養廃棄物の処理に係	る管理体制に関する事項					
	(管理体制図)						
	厚	と社的な廃棄物処理に関 経棄物の発生抑制、軽量		再生利用)、訂正処			
		の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討す					
	厚厚	全社的な廃棄物処理方針 を棄物処理に関する各種 を棄物処理計画の作成	事項の決定				
立当	支店(責任者):3 養廃棄物の排出の抑	<u> </u>	に関する検討				
	R/E 来物ッカーロッカー 	_{門に関する事項} 【前年度(令和 5 年度	ぎ) 実績】				
		産業廃棄物の種類	0800 木くず	0900 繊維くず			
		排出量	226.6 t	1.8 t			
	①現状	(これまでに実施した取組) ・電子マニフェストの導入。 ・古紙のゼロエミッションの取り組み。 ・協力業者へ分別の指導・教育を実施。 ・解体現場に於ける金属くずの産廃処理量を削減する。 ・広域認定での再資源化促進。 ・端材の有効利用による処分量削減。					
		【目標】					
		産業廃棄物の種類	0800 木くず	0900 繊維くず			
		排出量	105. 6 t	0.8 t			
	②計画	(今後実施する予定の国 ・古紙のゼロエミッショ ・協力業者へ分別の指導 ・解体現場に於ける金属 ・広域認定での再資源イ ・端材の有効利用による ・工場生産によるパネノ	ョンの取り組み。 尊・教育を実施。 属くずの産廃処理量を削 と促進。 る処分量削減。	減する。			
産業	薬廃棄物の分別に関	する事項	別紙1,2の	とおり			
	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・木くず、紙くず、廃プラスチック、石膏ボード、金属くずの分別各現場にて実施。 ・分別推進看板の現場掲示。 ・現場での作業員への直接指導。						
	②計画		直接指導。				

			面) -3			
産業	芝廃棄物の処理に係.	る管理体制に関する事項	•			
	(管理体制図)					
		と社的な廃棄物処理に関 [、] を棄物の発生抑制、軽量 [。]		・再生利用)、訂正処		
		の推進、計画的な廃棄物の	の管理運営を行う上で必	必要な事項を検討す		
	厚	と社的な廃棄物処理方針(を棄物処理に関する各種)				
-ba XII	支店(責任者):	経棄物処理計画の作成 と店における廃棄物処理	に関する検討			
産϶	美廃棄物の排出の抑制 	制に関する事項 【前年度(令和 5 年度	E)			
		産業廃棄物の種類	1200 金属くず	1300 カノヘ〜 9 、 1 ンクリートくず及び陶 磁哭くず		
		排出量	5.1 t	666. 5 t		
	①現 状	(これまでに実施した耳	反組)			
		・電子マニフェストの導入。 ・古紙のゼロエミッションの取り組み。 ・協力業者へ分別の指導・教育を実施。 ・解体現場に於ける金属くずの産廃処理量を削減する。 ・広域認定での再資源化促進。 ・端材の有効利用による処分量削減。				
		【目標】				
		産業廃棄物の種類	1200 金属くず	1300 カフス、9、コ ンクリートくず及び陶 磁哭くず		
		排出量	2.4 t	310.6 t		
	②計画	(今後実施する予定の即・古紙のゼロエミッショ・協力業者へ分別の指導・解体現場に於ける金属・広域認定での再資源に端材の有効利用による・工場生産によるパネノ	ョンの取り組み。 尊・教育を実施。 禹くずの産廃処理量を削 比促進。 る処分量削減。	川減する。		
産業	美廃棄物の分別に関す	する事項				
	①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・木くず、紙くず、廃プラスチック、石膏ボード、金属くずの分別を 各現場にて実施。 ・分別推進看板の現場掲示。 ・現場での作業員への直接指導。				
		(人数 八旦によっマ ウィー	東京安朴で在れる。***	コリッ 田上 マ 下 クロ \		
	②計画	(今後分別する予定の産・木くず、紙くず、廃っ 各現場にて実施。 ・分別推進看板の現場は ・現場での作業員への値 ・狭小現場での分別の位	プラスチック、石膏ボー 喝示。 直接指導。			

			面)-4			
産業	養廃棄物の処理に係	る管理体制に関する事項				
	(管理体制図)					
	厚	と社的な廃棄物処理に関 を棄物の発生抑制、軽量	The state of the s	再生利用)、訂正処		
)推進、計画的な廃棄物	の管理運営を行う上で	必要な事項を検討す		
	厚	と社的な廃棄物処理方針。 経棄物処理に関する各種 経棄物処理計画の作成				
~ 当		医店における廃棄物処理	に関する検討			
) ** .7	K/元末/以。〉Jyrഥ。〉Jyli	【前年度(令和 5年度	き)実績】			
		産業廃棄物の種類	1500 がれき類	2420 カノハ、9、コ ンクリートくず及び陶 磁哭くず (石組今右産		
		排出量	94. 2 t	31 t		
	①現状	(これまでに実施した取組) ・電子マニフェストの導入。 ・古紙のゼロエミッションの取り組み。 ・協力業者へ分別の指導・教育を実施。 ・解体現場に於ける金属くずの産廃処理量を削減する。 ・広域認定での再資源化促進。 ・端材の有効利用による処分量削減。				
		【目標】				
		産業廃棄物の種類	1500 がれき類	2420 カノヘ、9、コ ンクリートくず及び陶 磁哭くず (石線今有産		
		排出量	43.9 t	14. 4 t		
	②計画	(今後実施する予定の即・古紙のゼロエミッショ・協力業者へ分別の指導・解体現場に於ける金属・広域認定での再資源に端材の有効利用による・工場生産によるパネノ	ョンの取り組み。 尊・教育を実施。 属くずの産廃処理量を肖 と促進。 る処分量削減。	削減する。		
産業	業廃棄物の分別に関	する事項	別紙1,2の	とおり		
	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・木くず、紙くず、廃プラスチック、石膏ボード、金属くずの会 各現場にて実施。 ・分別推進看板の現場掲示。 ・現場での作業員への直接指導。					
	②計画	(今後分別する予定の産・木くず、紙くず、廃る ・木くず、紙くず、廃る 各現場にて実施。 ・分別推進看板の現場持 ・現場での作業員への値 ・狭小現場での分別の位	プラスチック、石膏ボー 喝示。 直接指導。	別に関する取組) - ド、金属くずの分別を		

			面)-5				
産	業廃棄物の処理に係 _.	る管理体制に関する事項					
	(管理体制図)						
	本社 : 全社的な廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、軽量化、循環利用(再使用・再生利用)、訂						
	理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討						
		と社的な廃棄物処理方針 軽棄物処理に関する各種	–				
	- 	音楽物処壁に関りる音権 経棄物処理計画の作成 と店における廃棄物処理					
産美	業廃棄物の排出の抑制	制に関する事項					
		【前年度(令和 5年度	g)実績 】 2430 廃ノノヘチツク 				
		産業廃棄物の種類	類(石綿含有産業廃棄物)	2440 がれき類(石綿 含有産業廃棄物)			
		排出量	1.1 t	54.8 t			
	①現状	(これまでに実施した耳					
		電子マニフェストの					
		・古紙のゼロエミッショ					
		・協力業者へ分別の指導	导・教育を実施。 属くずの産廃処理量を削	はする			
		・広域認定での再資源		100円の			
		・端材の有効利用による処分量削減。					
		【目標】 2430 廃ノノヘアツク 0440 がわ を短 (て始					
		産業廃棄物の種類	類 (石綿含有産業廃棄物)	2440 がれき類(石綿 含有産業廃棄物)			
		排出量	0.5 t	25. 5 t			
	②計画	(今後実施する予定の国					
		古紙のゼロエミッショ					
		・協力業者へ分別の指導・教育を実施。					
		・解体現場に於ける金属くずの産廃処理量を削減する。 ・広域認定での再資源化促進。					
		・端材の有効利用による処分量削減。 ・工場生産によるパネル化で現場加工を削減。					
产量	 		別紙1.2の	レ おり			
) <u>*</u> E. =		i i	別載 1, 2の 棄物の種類及び分別に関	_ •- •			
			ポラスチック、石膏ボー				
		・ハヽり、紙ヽり、焼↓ 各現場にて実施。	ノノヘナツク、石貨かっ	「下、並偶へりの方別を			
	①現 状	・分別推進看板の現場	 揭示。				
		現場での作業員への					
		(今後分別する予定の産	業廃棄物の種類及び分別	別に関する取組)			
		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	プラスチック、石膏ボー	・ド、金属くずの分別を			
	0717	各現場にて実施。	□ →				
	②計画	・分別推進看板の現場					
		・現場での作業員へのī ・狭小現場での分別の何					
		2004 2000 C 42 31 134 82 1	LL/ LL - \ \ \ O 0				
1	I	Ī					

自ら	自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項						
		【前年度(令和年月	度) 実績】				
		産業廃棄物の種類					
	() TH. ()	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量		t	t		
	①現状	(これまでに実施した耳	文組)				
		【目標】					
		産業廃棄物の種類					
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量		t	t		
	②計画	(今後実施する予定の取組)					

	【前年度(令和 5年度	要) 実績】	
	産業廃棄物の種類	0800 木くず	0900 繊維くず
	全処理委託量	226.6 t	1.8 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	39.4 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	142 t	1.8 t
①現状	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t

- ・木くず、紙くず、廃プラスチック、石膏ボード、金属くずの分別を各 現場にて実施。
- ・分別推進看板の現場掲示。
 ・現場での作業員への直接指導。

_		\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	Д / -			_
自身	っ行う産業廃棄物の地	里立処分又は海洋投入処分	分に関する事項			
		【前年度(令和年月	E)実績】			
		産業廃棄物の種類				
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量		t	t	
	①現状	(これまでに実施した耳	文組)			
		【目標】				
		産業廃棄物の種類				
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量		t	t	
	②計画	(今後実施する予定の耳	双組)			
						-

	【前年度(令和 5年)	要)実績 】			
	産業廃棄物の種類	1200 金属くす	1200 金属くず		コン ^ド 陶磁
	全処理委託量	5. 1	t	666. 5	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	4. 5	t	99. 1	t
	再生利用業者への 処理委託量	0.6	t	419. 2	t
①現状	認定熱回収業者への 処理委託量	0	t	0	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0	t	0	t
1	(テルナベルササルナ)	<u> </u>			

- ・木くず、紙くず、廃プラスチック、石膏ボード、金属くずの分別を各 現場にて実施。
- ・分別推進看板の現場掲示。
 ・現場での作業員への直接指導。

自身	っ行う産業廃棄物の埋	里立処分又は海洋投入処分				
		【前年度(令和 年度	ま) 実績】			
		産業廃棄物の種類				
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量		t	t	
	①現状	(これまでに実施した頃	文組)			
		【目標】				
		産業廃棄物の種類				
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量		t	t	
	②計画	(今後実施する予定の取組)				

		 				
	【前年度(令和 5年)	度)実績】				
	産業廃棄物の種類	1500 がれき	類	2420 ガラスくず、コン クリートくず及び陶磁 器くず(石綿含有産業		
	全処理委託量	94. 2	t	31	t	
	優良認定処理業者への 処理委託量	48	t	0	t	
	再生利用業者への 処理委託量	13. 6	t	0	t	
①現状	認定熱回収業者への 処理委託量	0	t	0	t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0	t	0	t	
	(これまでに宝塩」を	五 組)				

- ・木くず、紙くず、廃プラスチック、石膏ボード、金属くずの分別を各 現場にて実施。
- ・分別推進看板の現場掲示。
- ・現場での作業員への直接指導。

自身	っ行う産業廃棄物の埋	里立処分又は海洋投入処分				
		【前年度(令和 年度	ま) 実績】			
		産業廃棄物の種類				
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量		t	t	
	①現状	(これまでに実施した頃	文組)			
		【目標】				
		産業廃棄物の種類				
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量		t	t	
	②計画	(今後実施する予定の取組)				

	【前年度(令和 5年月	【前年度(令和 5年度)実績】						
	産業廃棄物の種類	2430 廃プラスチ (石綿含有産美 物)	ック類 Ě廃棄	2440 がれき類 有産業廃棄	(石綿含 物)			
	全処理委託量	1. 1	t	54.8	t			
	優良認定処理業者への 処理委託量	0	t	0	t			
	再生利用業者への 処理委託量	0	t	0	t			
①現状	認定熱回収業者への 処理委託量	0	t	0	t			
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0	t	0	t			
	(これまでに宝棒)を用	· ☆ 女月)		·				

- ・木くず、紙くず、廃プラスチック、石膏ボード、金属くずの分別を各 現場にて実施。
- ・分別推進看板の現場掲示。
- ・現場での作業員への直接指導。

	() 10	<u> </u>			
	【目標】				
	産業廃棄物の種類	0800 木く	ず	0900 繊維く	ず
	全処理委託量	105. 6	t	0.8	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	18. 4	t	0	t
	再生利用業者への 処理委託量	66. 2	t	0.8	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0	t	0	t
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0	t	0	1
	・木くず、紙くず、廃フ現場にて実施。 ・分別推進看板の現場推・現場での作業員への直・現場作業、現場加工の	引示。 正接指導。	霄小一下、	金属くりの分	別で

	(免り	田) -3			
	【目標】				
	産業廃棄物の種類	1200 金属<		300 カノハくす クリートくず及 哭くず	
	全処理委託量	2. 4	t	310.6	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	2. 1	t	46. 2	t
	再生利用業者への 処理委託量	0. 3	t	195. 4	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0	t	0	t
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0	t	0	t
	(今後実施する予定の取 ・木くず、紙くず、廃フ 現場にて実施。 ・分別推進看板の現場推 ・現場での作業員への直 ・現場作業、現場加工の	[*] ラスチック、石 引示。 E接指導。	膏ボード、	金属くずの分	引を各

	(第3	団) −4			
	【目標】				
	産業廃棄物の種類	1500 がれる	き類	2420 カノハくり クリートくず及 <u>哭くず(石綽今</u>)	び陶磁
	全処理委託量	43.9	t	14. 4	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	22.3	t	0	t
	再生利用業者への 処理委託量	6. 3	t	0	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0	t	0	t
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0	t	0	t
	(今後実施する予定の取・木くず、無くず、無くず、廃フ現場にて実施。・分別推進看板の現場携・現場での作業員への直・現場作業、現場加工の	[*] ラスチック、石 示。 .接指導。	膏ボート	、金属くずの分	別を各

	(知 0	囲 / 一5			
	【目標】				
	産業廃棄物の種類	2430 廃ノノヘ) (石綿含有産) 物)	業廃棄	2440 がれき類(有産業廃棄物	
	全処理委託量	0.5	t	25. 5	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0	t	0	t
	再生利用業者への 処理委託量	0	t	0	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0	t	0	t
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0	t	0	t
	・木くず、紙くず、廃フ現場にて実施。 ・分別推進看板の現場搭・現場での作業員への直・現場作業、現場加工の	引示。 正接指導。	膏ボート	、金属くずの分別	引を各